

不祥事防止への取り組み

取手市立取手小学校

校長 森田 哲夫

教育は、信頼関係の上に成り立つものであり、教職員は常に自らを律し、児童生徒や保護者の信頼に応えて、その職責の遂行に全力を尽くさねばなりません。

ひとたび不祥事が起これば、信頼関係は損なわれ、児童生徒や保護者のみならず、県民の教育への信頼を著しく低下させることになります。そこで、本校では不祥事根絶に向けた教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

- 1 不祥事の根絶、服務規律の遵守に向けて、定期的にコンプライアンス研修を実施しています。

コンプライアンス研修年間計画を作成し、それに基づき、管理職主導または、教職員主導によるボトムアップ型で、毎月コンプライアンス研修を実施しています。事例をもとにグループ討議をして具体的な対応策について考えたり、チェックリストを活用して自分自身の行動について振り返ったりするなどして、不祥事を自分事として捉え、研修に取り組んでいます。

【主な研修内容】

- ・飲酒運転の防止 ・個人情報の管理 ・会計の適正な管理
- ・わいせつ行為の防止 ・体罰、不適切な指導の防止
- ・各種ハラスメントの防止 等

- 2 不祥事関連の記事や各種通知文を活用し、職員で様々な事例や防止策について共有しています。

県内外で起きた不祥事に関連した記事や県や市の教育委員会からの通知文を全職員に伝達周知し、不祥事が起きた背景や防止策について考え共有しています。

- 3 定期的な校内点検や校内の環境整備により、不祥事の未然防止に努めています。

毎月の安全点検や日常の管理職による校内巡視、職員の休み時間や放課後の校内点検等で、各教室やトイレ、更衣室等に不審物が置かれていないか確認をしています。また、教室や職員室等のロッカーや棚、職員個人の

机上を定期的に整理し、違和感に気付ける環境づくり、個人情報漏洩や紛失の未然防止に取り組んでいます。

4 相談しやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

何かあった時には一人で抱え込まず、管理職や同僚職員に相談するよう共通理解を図っています。そのためにも、教職員相互の話し合いや相談しやすい雰囲気を大切にした職場環境づくりに努めています。管理職もアンテナを高くはり、職員の様子の観察をはじめ、コミュニケーションや情報共有を大切にし、職員のメンタルケアを意識し、違和感を見逃さず対応しています。

取手小学校の職場全体で意識を高め、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組めます。また、自分の学校から不祥事が起きないように職員一人一人が教育者としての使命感や誇りをもって努力を続けてまいります。